

岐阜県立岐阜北高等学校

校 長 鈴 木 健

学校住所 岐阜市則武清水1841-11

電話 058-231-6628

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会 議 名 岐阜北高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開 催 日 時 令和4年1月19日(水) 13:30~15:15
- 3 開 催 場 所 本校会議室
- 4 参 加 者

会 長	小 林 月 子	岐阜大学名誉教授	(欠席)
副 会 長	西 川 光 美	P T A会長	
委 員	安 藤 和 子	H 2 9 年度 P T A 副会長	
	小 野 慶 太	岐阜青年会議所副理事長	(欠席)
	澤 井 隆 彰	人材育成コンサルタント	
	鈴 木 雅 雄	弁護士	
	高 橋 進	則武自治会連合会顧問	
	古 田 菜 穂 子	同窓会(北斗会顧問)	
学 校 側	鈴 木 健	校長	
	新 沢 幸 美	事務部長	
	土 田 修 三	教頭	
	浦 野 善 裕	教頭	
	河 合 恵 哉	総務部長	
	笠 井 寛	教務主任	
	坪 内 有 美 子	進路指導部長	
	若 狭 幹 大	生徒指導部長	
	高 橋 淳	保健厚生部長	

5 会議の概要(協議事項等)

(1) 授業参観

(2) 第2回学校運営協議会報告

スクール・ポリシーの承認について

意 見 : 異議なし

(3) 制服等検討委員会報告について

意見1 : 服装による差別に具体的にどう対応するのか。制服検討委員会はこれから先に起こり得る問題にまで責任をもって答申しているのか。

意見2 : 私服について「機能的・合理的である」との判断は誰がどうするのか。様々な服装が想定されるが、教員によって指導が変わってくるのが心配である。様々な考えを持つ保護者に対して、何が良くて何が悪いかを説明できるか。

- 意見3 : 私服では不審者と生徒との判別ができないと思うが、不審者対応はどのような対策を考えているのか。学校の危機管理面での心配が大きい。
- 意見4 : 大学で水着を着てきた学生がいたが、例えばこのような場合は教員がどう指導していくのか気になる。今後、さまざまな事例や指導を教員間で蓄積し、共有していく必要がある。
- 意見5 : 生徒自身が考えて決定する力を身に付けることが大切である。自分が高校時代、頭髪や服装でレッテルを貼られてしまった子がいた。校則などの規制をなくすということではなく、生徒自らが選択でき、考えて学校生活を送ることに対してこのように支援してくれる学校や先生方の姿を評価したい。
- 意見6 : 保護者としては制服を着て学校に行ってほしい。経済面・安全面でも利点がある。他校では生徒の要求を学校に受け入れてもらえないと聞くが、北高は生徒の声を受け入れて民主的に対応していることに感謝したい。
- 意見7 : 関係者同士が、対等に、根拠に基づいて、自分の立場から自由に意見が言えることを経験できたこと、生徒にとっても教職員にとっても保護者にとっても貴重な経験となる。
- 意見8 : 他者の立場を理解・尊重しながら、そのうえで意思決定をしていくプロセス（学校運営協議会等に諮るというプロセスを含む）、民主主義の基本的プロセスを経験できたことが有意義である。
- 意見9 : 学校がここまで動いてくれたことが嬉しい。学校長が変わっても今後もこういった教育方針を変えることなく引き続き体制を維持してほしい。
- ⇒ 私服利用の試行期間には特に大きな問題はなかったが、問題があれば学校や生徒会などで継続して検討したい。今回のご意見は検討委員会の中でもこれまで議論してきたことではあるが、改めて制服検討委員会における課題として受け止めた。
- ⇒ 生徒が自由や快適さを求めるのは当然である。しかし監護（監督・保護）の責任がある保護者の立場で言えば、制服は安心でき、3年間着てほしい。生徒を預かる学校の管理者は、生徒の声を尊重しつつ、預かった生徒の安全安心をどう保障するかが最低限の条件と考えている。
- ⇒ 私服になれば、学校外の生徒の事故や事件は学校には届きにくくなり、校内での不審者の見分けが困難となる。「選択制」にするためには、それらのリスクがあることについて保護者からの了解を得る必要がある。
- ⇒ 解決すべき課題は多いが、これまでの検討委員会の議論や答申を尊重し、1歩を踏み出す方向性に理解いただき、来年度の「生徒心得」の改訂に着手することを了解願いたい。「生徒心得」の改定案は決定前に委員に示す。
- ⇒ 校長が代わっても学校の方針や政策の方向性に継続性を持たせることが、この学校運営協議会の存在意義でもある。

(4) 自己評価、学校関係者評価について

- 意見1 : 地元の自治会が実施している交通安全活動と連携していけると良いのではないかな。また、体育祭・文化祭・掃除活動などを通じて自治会との協力・連携を強めていきたい。
- 意見2 : 今後も引き続き、生徒一人一人にあった対応をお願いしたい。
- 意見3 : 学力だけではなく、探究的な学びの評価の仕方や規準を工夫しながら、今後も継続してほしい。
- 意見4 : 学校の抱える課題について分析し考え、少しでも理想に近づくように進めていってほしい。社会が大きく変わりつつあることをしっかりと認識し、大人たちが経験したことのない社会をこれからは生き抜いていかなければならないことを理解して指導してほしい。
- 意見5 : 今後も生徒に対して社会に対する見方や考え方を身に付けさせるにあたっては先生たちの努力が非常に大切であると考えている。
- 意見6 : 進学重視型の北高において、自らに高い評価を下せない生徒に寄り添う教育をしてほしい。偏差値や点数だけで人の価値を決めることなく生徒を育成してほしい。

⇒ 昨年度から各種のイベントがコロナ禍で自粛となり生徒の活躍の機会が減った。今後は感染状況を見極めながら、より多くの機会を生徒に提供できればと思っている。

- 6 会議のまとめ
- ・ 第2回学校運営協議会の議事を確認した。
 - ・ 「スクール・ポリシー」について、前回の協議を踏まえた変更点を説明し、最終承認が得られた。
 - ・ 「制服」の在り方について、生徒との対話を通して進めた審議の過程について評価が得られた。今後は、学校の安全配慮義務や具体的な指導方法など、解決すべき課題として指摘された内容に留意しながら、「選択制」を部分的に導入していく方向性に理解が得られた。
 - ・ 「自校評価」から、本校教育活動や課題に対して様々な視点からのアドバイス、期待や要望を聞くことができた。次年度の具体的な教育活動に反映させたい。